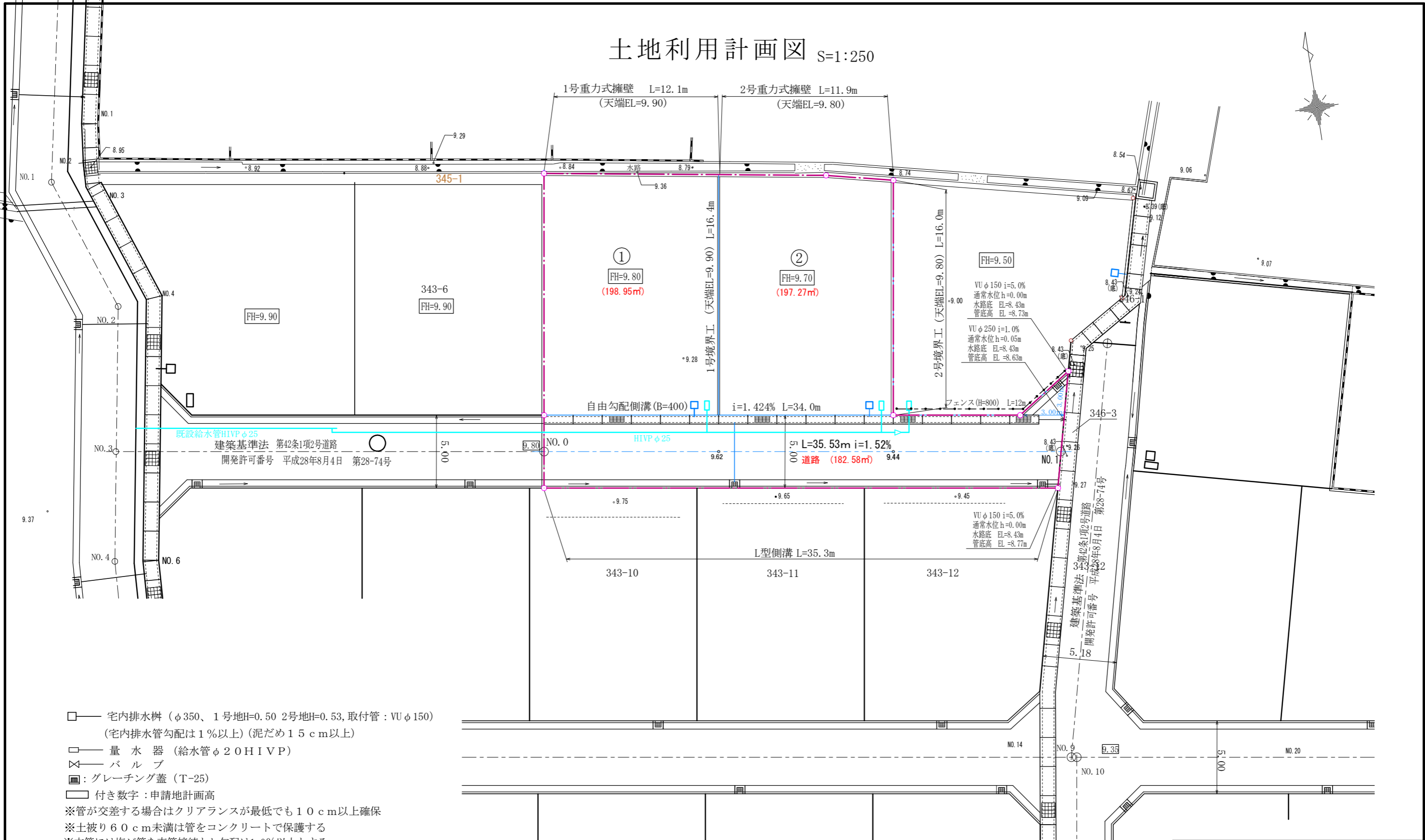
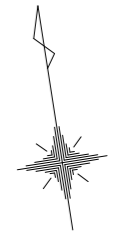


土地利用計画図 S=1:250



- 宅内排水樹 (φ350、1号地H=0.50 2号地H=0.53, 取付管: VUφ150)
(宅内排水管勾配は1%以上) (泥だめ15cm以上)
- 量水器 (給水管φ20 HIVP)
- ⊗—— バルブ
- : グレーチング蓋 (T-25)
- 付き数字: 申請地計画高
- ※管が交差する場合はクリアランスが最低でも10cm以上確保
- ※土被り60cm未満は管をコンクリートで保護する
- ※本管には塩ビ管を支管接続とし勾配は1.0%以上とする
- ※街渠樹から本管に接続はVUφ150とし勾配は1.0%以上とする
- ※取付管は水路の通常水位より上で放流する
- ※開発協議の対象は最終樹から1次放流先までとする。
- ※予定建築物の用途は一戸建ての住宅とする。
- ※各戸に合併浄化槽を設置する。
- ※宅内の水が道路に流出しないように、勾配は宅内樹に向けて整地する。
- ※自由勾配側溝に設置するグレーチング蓋はT-25とする

所在	高松市多肥上町字南原		
図面名称	土地利用計画図	縮尺	1:250
作成年月日	令和3年10月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田 努		

土地利用計画図 S=1:250



□— 宅内排水樹 (350以上、取付管: VU 150)
 (宅内排水管勾配は1%以上) 泥だめ15cm以上)

□— 量水器 (給水管 20 HIVP)

⊗— バルブ

■: グレーチング蓋 (T-20)

□ 付き数字 : 申請地計画高

管が交差する場合はクリアランスが最低でも10cm以上確保

土被り60cm未満は管をコンクリートで保護する

本管には塩ビ管を支管接続とし勾配は1.0%以上とする

街渠樹から本管に接続はVU 150とし勾配は1.0%以上とする

取付管は水路の通常水位より上で放流する

開発協議の対象は最終樹から放流先までとする。

予定建築物の用途は一戸建ての住宅とする。

各戸に合併浄化槽を設置する。

宅内の水が道路に流出しないように、勾配は宅内樹に向けて整地する。

所在	高松市多肥上町字南原		
図面名称	土地利用計画図	縮尺	1:250
作成年月日	令和3年8月30日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田 努		